

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習Ⅱ		必修	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾 他	B305	atakiguchi	木曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>「福祉心理学専門演習Ⅰ」で学んだキャリア心理学に関する基本的な知識や理解をさらに深めるとともに、自分自身が目指す将来像を整理するために、心理学に基づく自己分析を行い、人間社会で起こっている現象や多様な関係性について理解し、必要な知識や技術を身につけることを目的とする。 <概要>キャリア心理学に関するワーク及び調査・分析を行う。そのため、個別課題とプレゼンテーションを繰り返し行い理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	社会の中で自分らしく生きることができるよう、心理学の知識を活かし自分自身について理解を深めて欲しい。授業への積極的な参加を求める。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	キャリア心理学に関する基本的な理論や知識について理解し、説明できる。			HSU(1)、(2)、WP(5)	
②	心理学の専門的知識を活かし、自己について理解することができる。			WP(4)	
③	心理学の専門的知識を活かし、人間社会の現象を理解することができる。			WP(5)	
④	多面的かつ効果的な工夫を凝らして、成果を発表することができる。			HSU(4)、WP(3)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	「福祉心理学専門演習Ⅰ」の総括及び各自「福祉心理学専門演習Ⅱ」の学修目標について発表を行う。	講義・演習	発表の準備を行う。互いに質疑応答を行う。	2	
2	人間社会の理解(3)キャリア形成の場としての企業及び業種や職種について学ぶ①。	演習	自己理解の重要性と社会貢献について調べる。	3	
3	人間社会の理解(3)キャリア形成の場としての企業及び業種や職種について学ぶ②。	演習	自己理解の重要性と社会貢献について調べ学んだことを整理する。	3	
4	人間社会の理解(3)キャリア形成の場としての企業及び業種や職種について学ぶ③。	演習	自己理解の重要性と社会貢献の概要について学んだことを整理し、発表の準備を行う。	7	
5	人間社会の理解(4)キャリア形成の場としての企業及び業種や職種について考察する①。	プレゼンテーション	発表後の振り返りを行う。	3	
6	人間社会の理解(4)キャリア形成の場としての企業及び業種や職種について考察する②。	プレゼンテーション	発表後の振り返りを行う。	3	
7	キャリア心理学(3)自己理解の重要性と社会情勢を踏まえた社会貢献の方法などの概要について学ぶ①。	演習	自己理解の重要性と社会貢献について調べる。	3	
8	キャリア心理学(3)自己理解の重要性と社会情勢を踏まえた社会貢献の方法などの概要について学ぶ②。	演習	自己理解の重要性と社会貢献について調べ学んだことを整理する。	3	
9	キャリア心理学(3)自己理解の重要性と社会情勢を踏まえた社会貢献の方法などの概要について学ぶ③。	演習	自己理解の重要性と社会貢献の概要について学んだことを整理し、発表の準備を行う。	7	
10	人間社会の理解(5)キャリア形成の場である企業及び業種や職種の基本姿勢について学ぶ。	講義・演習	発表、討議の準備を行う。	7	
11	キャリア心理学(4)自己分析の結果と企業・職種に関する学びを発表する①。	プレゼンテーション	発表後の振り返りを行う。	3	
12	キャリア心理学(4)自己分析の結果と企業・職種に関する学びを発表する②。	プレゼンテーション	発表後の振り返りを行う。	3	
13	キャリア心理学(5)自己分析の結果と企業・職種に関する学びを考察する。	演習	発表後の振り返りを行い、次回に向けた準備を行う。	7	
14	キャリア心理学(6)自己分析の結果と企業・職種に関する学びを発表する①。	プレゼンテーション	発表後の振り返りを行う。	3	

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科/旧カリキュラム】

15	キャリア心理学(6) 自己分析の結果と企業・職種に関する学びを発表する②。	プレゼンテーション	発表後の振り返りを行う。	3
試	評価のポイントを参照			

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	60	0	40	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	5	0	5	10
	思考・推論・創造する力	0	0	5	0	10	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	5	10
	発表・表現伝達する力	0	0	25	0	0	25
	コミュニケーション力	0	0	10	0	5	15
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	10	0	5	15

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①	✓	3回の発表会において、求められる課題テーマに応じて、現代社会の諸問題に関する心理学的知識を踏まえた上で、自ら発見・思考した内容をコミュニケーション豊かに表現する発表となっているか、その内容や技術などについて総合的に評価する。	発表後に講評及び解説、さらに以後の講義で成長に必要な取り組み課題を指摘する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	発表会の準備及び持続的な修正に対して真摯に取り組み、各ゼミ内における発表予行でも必要十分なグループ検討への参画を担える積極的な意欲・態度について、総合的に評価する。	毎回授業時に個々にコメントを加えた上で、次回までの改善点を指示する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	鈴木 真吾、高田 毅
教員の実務経験	
実践的授業の内容	
そ の 他	学生は必ずいずれかの教員のゼミに所属すること。 大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。